

平成29年度 経営支援事例報告書

【テ ー マ】

支援区分	その他経営支援
支援テーマ	伴走型支援による新規事業の構築と後継者育成

【企業の概要】

名 称	有限会社梶川商店	創 業 年	1951年
代 表 者	梶川 和好	業 種	化粧品小売業
商 工 会	智頭町商工会	(取扱い商品等)	化粧品、ヘアケア商品等

【支援の概要】

1. 相談の経緯

商品購入者に無料サービスで行っていたフェイシャルエステは評判が良く、顧客から本格的なフェイシャルエステを望む声が多数あった。顧客のニーズに応えるとともに売上にも繋げたいと相談を受け、1人1人に合った本格的なフェイシャルエステの事業化を実現するため支援を開始した。

2. 経営課題

長年、化粧品専門店として地域に密着して営業していたが、ドラッグストアの町内進出、ネット通販の普及により顧客数、売上高ともに年々減少していた。そのため、新規顧客の開拓、既存顧客の囲い込みと定着化を図りリピーターに繋げる必要があった。他店との差別化を図り、収益を上げ、経営の持続化を図っていくことが課題となっていた。

3. 支援内容

小規模事業者持続化補助金の活用によるフェイシャルエステの事業化

- (1) 優先順位を明確化し事業計画を認識してもらうことで、売上管理や顧客管理の必要性についての理解を深めた。
- (2) マンネリ解消や客単価アップに繋げるため、商品陳列の改善や将来の店舗レイアウトの構想など、後継予定者にも一緒に考えてもらいながら将来を意識した支援を実施した。

4. 支援の成果

- (1) フェイシャルエステの告知のため、チラシ折込や配布、SNSでの情報発信により、町外を含め22名の新規顧客獲得。内12名がリピーターとなった。
- (2) カウンセリングの強化を行い、お客様1人1人に合ったケアの提案が顧客の満足度の向上へと繋がった。
- (3) フェイシャルエステがきっかけとなり、お客様の来店頻度が増え、化粧品の販売拡大へと繋がった。
- (4) 後継予定者の経営に対する意識が高まった。

5. 成果物等の写真



新設したエステブース

6. 事業者の声

商店街の事を普段から気にかけてもらっていたので、今回新たにエステ導入をしたいと補助金の相談をしました。補助金申請は初めてでしたが、安心して取り組むことが出来ました。エステを新設したことで売上貢献に繋がったことと共にやる気を持ってたという嬉しい気持ちでいっぱいです。

【報告者】

センター	東部商工会産業支援センター	担当者名	草刈 陽子
------	---------------	------	-------